

初心者のための詳細な電卓機能ガイド

基本機能

1. クリアエントリー (CE) :

- 使用例：買い物の合計を計算中に、最後に入力した商品の金額を間違えた場合。
- 操作：CE ボタンを押すと、最後に入力した数字のみが消えます。
- 効果：前の計算結果は保持されたまま、正しい金額を再入力できます。

2. クリア (C) :

- 使用例：複数の買い物の合計を計算していたが、最初からやり直したい場合。
- 操作：C ボタンを押すと、現在の計算過程がすべて消去されます。
- 効果：新しい計算を一からスタートできます。

3. オールクリア (AC) :

- 使用例：電卓を他の人に貸した後、自分の計算を始める前。
- 操作：AC ボタンを押すと、すべての計算履歴とメモリーが消去されます。
- 効果：電卓が完全に初期状態になり、新たな計算を安心して始められます。

4. 00 ボタン:

- 使用例：1万円や10万円などの大きな金額を入力する際。
- 操作：数字の後に00 ボタンを押します (例：1→00で100、5→00で500)。
- 効果：大きな数字を素早く入力できます。

5. プラス/マイナスチェンジキー (±) :

- 使用例：収支計算で、支出を入力する際。
- 操作：金額を入力後、± ボタンを押します。
- 効果：入力した金額が正の値から負の値に (またはその逆に) 変わります。

6. 桁下げキー:

- 使用例：12345 と入力するつもりが、誤って123456 と入力してしまった場合。
- 操作：桁下げキーを1回押します。
- 効果：最後の6が消え、12345 になります。

7. 小数点指定スイッチ:

- 使用例：商品の単価が小数点以下2桁まで表示されている場合。
- 操作：小数点以下の桁数 (この場合は2) を指定します。
- 効果：計算結果が自動的に指定した桁数で表示されます。

8. ラウンドスイッチ:

- 使用例：消費税計算で、端数を四捨五入したい場合。
- 操作：ラウンドスイッチで四捨五入する桁を指定します (例：1円単位なら0)。
- 効果：計算結果が自動的に指定した桁で四捨五入されます。

日数計算機能

- 使用例：プロジェクトの期間や休暇の日数を計算する場合。
- 操作：開始日と終了日を入力します (例：20240501 → 20240515)。
- 効果：二つの日付の間の日数が表示されます (この例では15日)。

メモリー機能

1. メモリープラス (M+) :

- 使用例：複数の収入源からの合計収入を計算する場合。

- 操作：各収入を入力し、M+ ボタンを押します。
- 効果：入力した金額がメモリーに加算されていきます。

2. メモリーマイナス (M-) :

- 使用例：総収入から複数の支出を引いて手元に残る金額を計算する場合。
- 操作：各支出を入力し、M-ボタンを押します。
- 効果：入力した金額がメモリーから減算されていきます。

3. メモリーリコール (MR) :

- 使用例：上記の計算後、最終的な残高を確認する場合。
- 操作：MR ボタンを押します。
- 効果：メモリーに記録されている数値（この場合は残高）が表示されます。

4. クリアメモリー (MC) :

- 使用例：新しい計算を始める前にメモリーをクリアする場合。
- 操作：MC ボタンを押します。
- 効果：メモリーの内容が完全に消去されます。

GT機能

- 使用例：1週間の食費を日ごとに合計しながら、週間総額も知りたい場合。
- 操作：各日の食費を入力し、「=」を押した後にGT ボタンを押します。
- 効果：日々の小計を見ながら、GT ボタンを押すことで週間総額を確認できます。

パーセント計算機能

- 使用例：1000円の商品に8%の税を加える場合。
- 操作：1000 → + → 8 → % → =
- 効果：1080円（税込み価格）が表示されます。

ルート機能 (√)

- 使用例：9の平方根を求める場合。
- 操作：9 → √ ボタン
- 効果：3が表示されます。

定数計算機能

- 使用例：毎月の家賃80,000円を12ヶ月分まとめて計算する場合。
- 操作：80000 → × → 12 → =
- 以降は：= ボタンを押すたびに80,000が加算されます。
- 効果：1年分、2年分...と簡単に計算できます。